

# 労働災害発生状況

(平成29年上半期)

— 労働災害が減少しています! —

休業4日以上<sup>1</sup>の労働災害は平成29年6月末時点で、平成28年6月末時点の件数より**5.9%減少**しています。また、死亡災害は発生していません。

建設業、第三次産業で減少しておりますが、製造業、運輸交通業で増加し、全体的には労働災害が減少しております。

墜落・転落、転倒、飛来・落下災害が減少しておりますが、はさまれ・巻き込まれ災害が大幅に増加しており、前年同期の約3倍となっております。

## 1 休業4日以上<sup>1</sup>の労働災害発生件数

平成29年6月末  
現在(速報値)

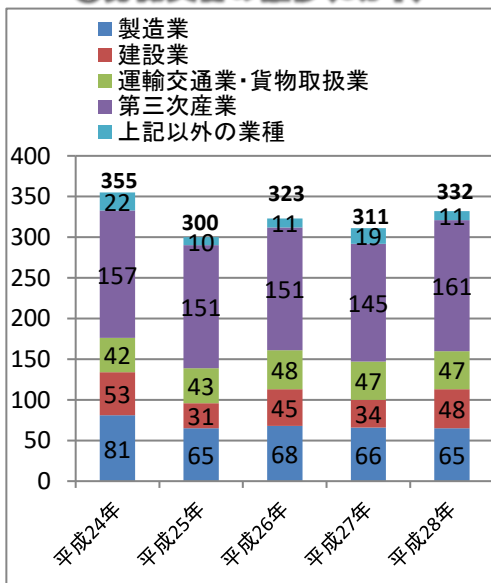
平成28年6月末  
現在(速報値)

【( )内は死亡災害[内数]】

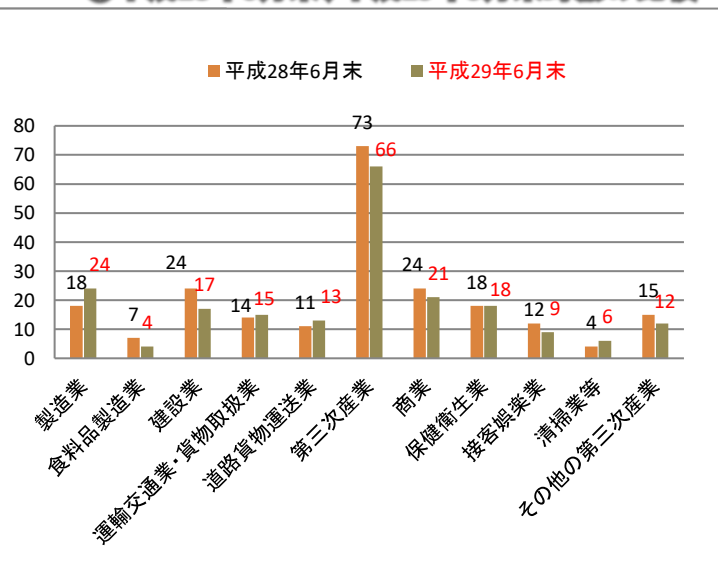
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	前年同期
製造業	81(1)	65	68	66(2)	65(1)	24	18
食料品製造業	27	12	13	12	15	4	7
建設業	53(2)	31	45	34(1)	48(1)	17	24(1)
運輸交通・貨物取扱業	42	43	48	47	47(2)	15	14(2)
道路貨物運送業	34	30	35	34	34	13	11
第三次産業	157(1)	151	151(1)	145	161(1)	66	73
小売業	35	34	33	40	35	20	16
社会福祉施設	32	27	27	23	32	12	15
飲食店	22	16	13	12	9	5	4
清掃業等	13	9	17(1)	11	8	6	4
その他の第三次産業	55(1)	65	61	59	77(1)	23	34
上記以外の業種	22	10	11	19	11(1)	6	7(1)
合計	355(4)	300(0)	323(1)	311(3)	332(6)	128(0)	136(4)

平成29年6月末時点で平成28年6月末と比較すると**8件減少**しました。「製造業」「運輸交通業」で増加しています。製造業では「はさまれ・巻き込まれ」災害の増加が特に目立ち、製造業に占める割合の54%以上となっております。

### ①労働災害の推移(5カ年)

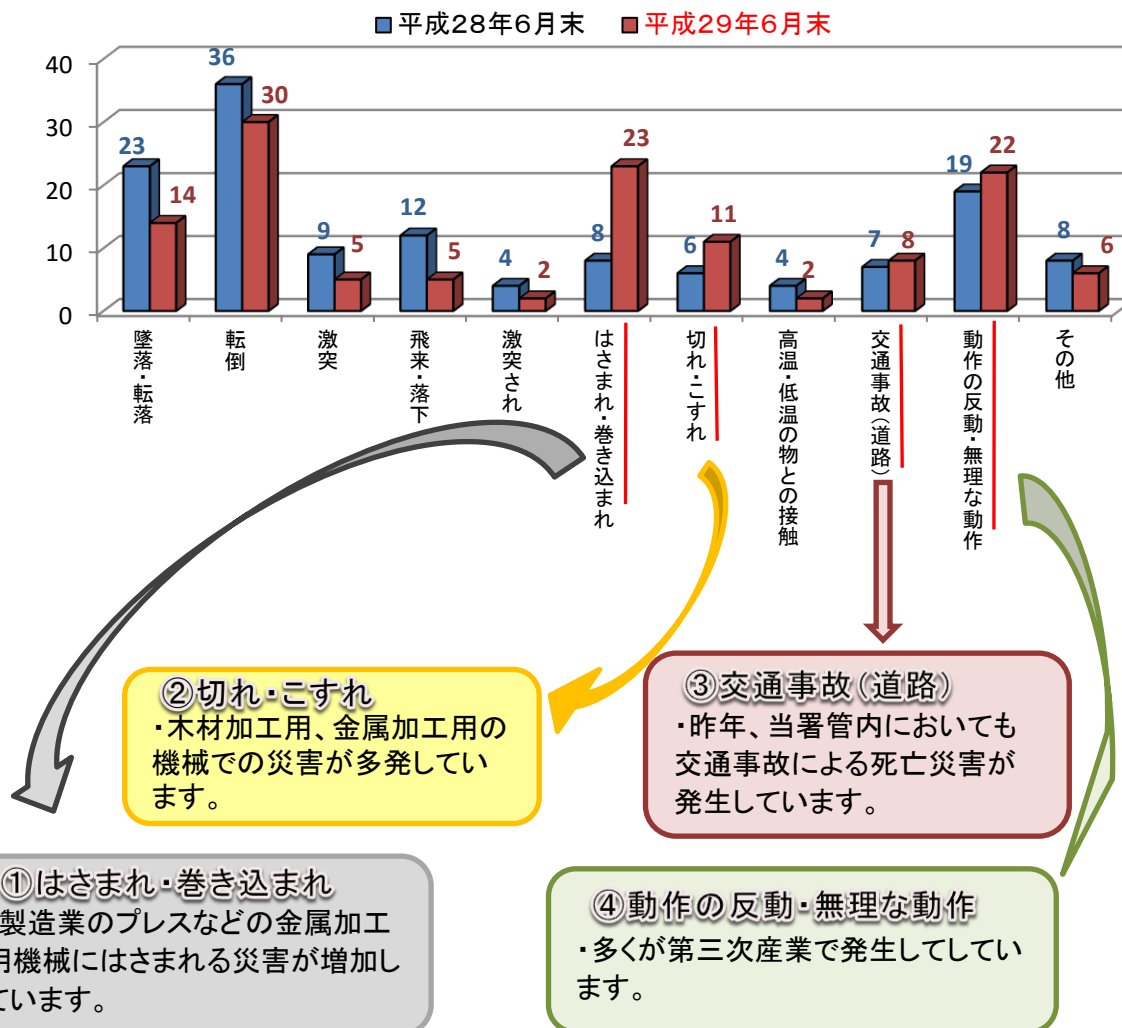


### ②平成28年6月末、平成29年6月末時点の比較



## 2 事故の型別発生状況

事故の型別にみると、昨年同期に増加していた「転倒」、「墜落・転落」が減少し、昨年減少していた「はさまれ・巻き込まれ」、「切れ・こすれ」が大幅に増加をしています。



## 3 労働災害防止のために

本年上半期は、昨年と比べて全体的には減少しておりますが、「はさまれ・巻き込まれ」、「切れ・こすれ」災害が大幅に増加しており、特に機械によるものが多発しております。

はさまれ・巻き込まれ災害が製造業を中心に増加しており、今後も「機械の包括的な安全基準に関する指針」に基づいた対応が重要となります。

また、転倒災害については、依然として発生率が高い状況にあります。当署では、『青梅署STOP！転倒災害プロジェクト』を推進しており、特に「転倒災害防止の見える化」についてより一層の推進を図ってまいります。

安全な職場環境を形成するためには、労働者全員で危険要因を発見・改善・見える化し、労働災害を未然に防ぐことが重要です。そのためには、労働者個々の安全衛生意識や危険感受性を高める必要があります。事業所の方におかれましては、『リスクアセスメント』の実施、『安全衛生教育』の充実、『青梅署STOP！転倒災害防止プロジェクト』などの取組みを推進し、全員参加型の安全衛生活動の展開をお願いいたします。